

海の熊野

谷川健一・三石学 [編]

神話の時代より、黒潮に洗われながら、さまざまな文化を受け取り、そして発信してきた熊野。

「山が海に突っ込んでいいる」ともいわれる、特徴的な地形をもつ熊野は、山と海、双方の文化から成り立っている。世界遺産に登録された熊野古道のイメージから「山の熊野」が注目を集めがちであるが、「海の熊野」を見ずして熊野の全貌を語ることはできない。補陀落渡海や漂着神、海を舞台にした祭り、熊野漁民の活躍など、「海の熊野」の文化を再評価する一冊。

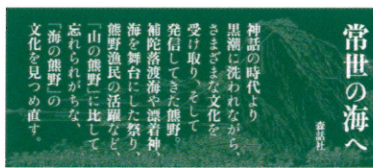
目次

- 【I】 海の熊野の魅力／谷川健一（民俗学者）
黒潮と黒潮反流
／三石学（海の熊野地名研究会事務局長）
海からの眼差し 海への眼差し
／桐村英一郎（朝日新聞社社友）
花の窟／三石学
- 【II】 熊野の補陀落渡海
／山本殖生（熊野三山協議会幹事）
熊野の漂着神と徐福信仰／三石学
熊野水軍／阪本敏行（田辺市熊野古道館研修顧問）
熊野比丘尼と絵解き／林雅彦（明治大学教授）
- 【III】 関東・東北出漁
／川島秀一（リアス・アーク美術館副館長）
土佐、壱岐、五島の鯨捕り
／田中弘倫（海の熊野地名研究会会長）
熊野漁民の遭難
／稲生淳（和歌山県教育センター学びの丘所長）
赤須賀船巡回と紀勢本線の開通／三石学
熊野川河口の風景／宇江敏勝（作家）
海女、いまむかし／川口祐二（エッセイスト）

- 【IV】 熊野の地震と津波／三石学
青岸渡寺と那智の滝／田中弘倫
奥熊野の銅山／田中弘倫
奥熊野の隠れ切支丹娘
／中田重顕（みえ熊野学研究会運営委員）

- 【V】 外国人が見た幕末・明治の串本・大島／稲生淳
熊野灘で起きた外国船の遭難／稲生淳
英国人灯台守と真珠貝ダイバー／稲生淳
熊野文化の先進性と開明性
／辻本雄一（佐藤春夫記念館館長）
南方熊楠と熊野
／吉川壽洋（和歌山工業高等専門学校名誉教授）

- 【VI】 分布からみた熊野の地名
／桑原康宏（田辺市文化財審議会委員）
浦神・宇久井半島の微細地名／田中弘倫
熊野川か新宮川か／田中弘倫



四六判上製 416 頁
定価 3675 円 (税込)

私が黒潮を望見したのは、太平洋戦争が始まろうとする直前、昭和十六年の秋でした。当時二十歳の旧制高専生であった私は、友人をかたがて南紀に遊びまわりましたが、串本から船で渡った大島の檜野崎というところを歩く途中、道傍に設けられている魚見櫓にのぼり、南を眺めたとき、沖合遙かに濃い醬油色をした流れが、西から東へとゆっくり動くのを見とめました。その時、私は熊野の大きさを始めて知り、心の底から深く感動しました。その光景は今も目に焼きついています。

谷川健一（本書「序」より）

森話社

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 1-2-3 Tel.03-3292-2636 / Fax.03-3292-2638 / e-mail: info@shinwasha.com

この注文書にて最寄りの書店へお申し込み下さい。

注文書 (森話社)	海の熊野 谷川健一・三石学 [編] / 森話社 定価 3675 円 (税込) / ISBN978-4-86405-025-8	冊	取り扱い店名
	(ご住所)		
	(お名前)		(電話番号)